

学科名	電気通信工学科							
科目名	電子情報工学演習							
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次後期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／必修科目(情報システムコース)							
担当者	江崎 秀、原谷直実、江上典文、白土 浩							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・技術マニュアルを理解し、自主的に作業することができる(A4) ・入出力装置を持つ組込みシステムのプログラミング手法に習熟する(B5,B7) ・ハードウェア制御とソフトウェア制御によるインターフェース技法を理解できる(B5,B7) ・様々な実例から、組込みシステムの基盤技術を説明することができる(B6,B7) ・習得した知識や技術を発展させ、自ら設定した課題を資料にして提示することができる(A4,C6) 							
日程と内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 9/17 ガイダンス ② 9/24 第1テーマ1回目 ③ 10/1 第1テーマ2回目 ④ 10/8 第1テーマ3回目 ⑤ 10/15 第1テーマ4回目 ⑥ 10/22 第2テーマ1回目 ⑦ 10/29 第2テーマ2回目 ⑧ 11/12 第2テーマ3回目 ⑨ 11/19 第2テーマ4回目 ⑩ 11/26 第3テーマ1回目 ⑪ 12/3 第3テーマ2回目 ⑫ 12/10 第3テーマ3回目 ⑬ 12/17 第3テーマ4回目 ⑭ 12/24 スライド作成 ⑮ 1/14 スライド評価 							
成績評価基準	定期試験	0%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	90%	プレゼンテーション	10%	課題	0%		0%
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・技術マニュアルを理解し、自主的に作業することができる:到達できた ・入出力装置を持つ組込みシステムのプログラミング手法に習熟する:到達できた ・ハードウェア制御とソフトウェア制御によるインターフェース技法を理解できる:到達できた ・様々な実例から、組込みシステムの基盤技術を説明することができる:到達できた ・習得した知識や技術を発展させ、自ら設定した課題を資料にして提示することができる:到達できた 							
反省点	<p>本科目は実習形式の科目である。そのため最低限守らなければならないのが出席と課題提出である。6名の不合格者のうち授業を放棄した学生が5名いたが、学科での指導が必要である。1名だけ、出席したものの課題提出ができずに不合格になった者がいた。早期に指導すべきだったと考える。</p>							
来年度の計画	<p>科目独自のアンケート結果では現状を肯定する比率が高く、また授業評価アンケート結果や合格率も高いため、来年度もほぼ同じ形式で運営したいと考える。来年度は、より判り易い実習および課題提出への指導を心がけたい。</p>							
授業評価アンケートに対するコメント	<p>総合評価の平均8.3点は、昨年度より0.2ポイント低かった。また「授業の内容は理解できましたか」と「教員の話し方は明瞭でしたか」の項目は、4.0をやや下回った点は反省点である。しかし別途、独自アンケートを実施した結果は、テーマ数、内容、教員やTAの指導法のいずれも、現状どおりが良いという回答が大半だった。肯定的な結果が得られたことは評価できる。</p>							
履修登録者数	65名	定期試験 受験者数	59名	合格者数	59名	合格率	100%	